



オープン以来予想を上回る入場者を数えるアクアマリンふくしま

電 設 新 聞

発行所
社福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県協会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235
編集印刷 福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

新エネルギー・ITに対応

県民に信頼される技術集団として

西暦では、二〇〇一年を迎え、いよいよ二十一世紀に突入いたしました。輝かしい希望に満ちた心安らぐ時代になることを願うとともに、電気設備を通して社会に貢献するため、自覚をもって協会活動を進めて参りたいと存じます。

さて、昨年の経済動向は、政府の懸命な景気浮揚策が実施され、一部の業種では好転の兆しが見られたものの、総じて見ると民間設備投資や個人消費は依然として低迷し、目標とされた自立的な景気回復には至りませんでした。このように景気低迷が長引く背景には、少子・高齢化等による社会構造の変化や企業におけるリストラの進展等による将来に向けた漠然とした不安と先行き不透明感があり、個人消費の足かせになっていると言われております。

私達、電気設備工事業界を取り巻く環境も以前

にも増して厳しい状況が続いております。不良債権処理の遅れから一部の大手ゼネコンの経営危機は今なお続いており、建設市場では、価格競争が一段と激化し、根拠のない指し値が横行するなどを願うとともに、電気設備を通して社会に貢献するため、自覚をもって協会活動を進めて参りたいと存じます。

さて、昨年の経済動向は、政府の懸命な景気浮揚策が実施され、一部の業種では好転の兆しが見られたものの、総じて見ると民間設備投資や個人消費は依然として低迷し、目標とされた自立的な景気回復には至りませんでした。このように景気低迷が長引く背景には、少子・高齢化等による社会構造の変化や企業におけるリストラの進展等による将来に向けた漠然とした不安と先行き不透明感があり、個人消費の足かせになっていると言われております。

私達、電気設備工事業界を取り巻く環境も以前



社団法人 福島県電設業協会 会長 松崎 勉

も聞こえはじめました。このような動きを注視しながら今後の経営を展望していかなくてはなりません。

ところで昨年は、大変厳しい受注環境が続きましたが、県御当局におかれましては、二本松市に完成した女性総合センターや会津若松市に建設中のハイテクプラザ会津若松技術支援センターなど数多くの事業で、これまで通り地元県内業者優先で活用されましたことは、私たちにとって大きな励みになりましたし、県を代表する施設のひとつとなった海洋文化学習施設「アクアマリンふくしま」で予想を大きく上回る来場者を数えていることには、施工を担当させていただいた地元企業にとりまして大きな喜びとなりました。改めて地元活用にご理解をいただいた発注機関の皆様方に深く感謝申し上げます。

急激な景気回復を望めない状況にありますが、電気設備の分野では、更新時期を迎えた建築設備のリニューアルや太陽光や風力をはじめとする新エネルギー、省エネルギー技術の導入とともに、インターネット普及をはじめとする急激な情報化の進展とIT革命を支える技術革新が課題となっ

TOSHIBA

明るく、スリムで、長寿命。



謹賀新年

本年も相変わらぬご指導ご支援をお願いいたします

社団法人 福島県電設業協会

National 松下電工

新登場! カンタン結線の カンタッチ アロー盤。

●電線を差し込むだけで施工時間は従来の約1/2(当社従来品比)。ネジなしカンタン結線「連結端子」を内蔵。

●ワンタッチで着脱できる「プラグインアダプタ」付。

●充電部を隠ぺいした安全性の高いカバー構造。

業界初のネジなし!

カンタッチ プレカ搭載 アロー盤

(分電盤) (ネジ止め作業ナシ) (思わずニコリ)

©「カンタッチプレカ搭載アロー盤」に関する資料のご請求は、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工・福島営業所 TEL (024) 939-7731, FAX (024) 939-4777まで。*二次側「連結端子内蔵」、一次側「プラグインアダプタ」付のプレカを搭載した分電盤で業界初。平成10年4月現在、当社調べ。快適を科学します

組織をあげて挑戦!



リニューアルの主役

環境に配慮した電気設備

二十一世紀の幕開け、新しい時代の到来と言われる中で、建設業は構造変革期の真っただ中にあります。開発型事業展開に陥りがちな再生・再開型事業が勃興、また、電力自由化・規制緩和を受けた電力供給方式、環境に配慮した新エネルギーの導入、さらに「IT革命」の基盤となる高度情報化の各種インフラ整備など、電気設備工事業界を取り巻く環境は大きく変化しています。年の初めにあたり本紙は、県土木部都市局の鈴木康之営繕課長と当協会の正副会長による座談会を開催し、電気設備工事業界を取り巻く環境や今後の電気設備の見通し、そして特に「施設再生」の力となる施設リニューアルについてご意見をうかがいました。

大型設備も地元で完成

発注者の信頼に応える技術

司会 本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

津若松支援センターでは、県当局の特段のご配慮により電設業界の分野に取り入れて頂き、当協会会員が受注させていたいただきました。すでに竣工し引き渡しが終わった物件のうち県海洋化学学習

昨年、新春座談会を始めさせていただいたと思います。昨年も景気が一向に回復されなかつたと存じますが、当協会の会員におきましては受注量の減少によりまして、非常に厳しい環境にありました。二十一世紀を迎えた今年、やはり節目の年でありまして、少しでも明るい希望を持てる年になりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



松崎会長

松崎会長 二十世紀が幕を閉じ、いよいよ新しい世紀、二十一世紀が始まりました。新年、あけ

施設・アクアマリンふくしまは、昨年七月のオープン以来、順調に入場者数を記録し、昨年中に当初の予想年間入場者数を大きく上回る百万人の大台に達する見込みであるとお聞きしておりました。

施工を担当させていただいた当協会にとりまして、大変勉強になりました。大きな自信になったばかりでなく、これだけ多くの人にきていただける建物を担当させていただいたということは、施工者冥利に尽きるものだと思います。

津若松支援センターでは、県当局の特段のご配慮により電設業界の分野に取り入れて頂き、当協会会員が受注させていたいただきました。すでに竣工し引き渡しが終わった物件のうち県海洋化学学習

技術力向上に全力

各テーマで実務型研修

佐藤副会長 昨年は、最初に上級者研修会を二月十六日に郡山市のビッグパレットふくしままで開きました。これは、一級施工管理技士六十五名の参加で、リニューアル工事の概要であります。

いことでございますが、会員企業が担当した施設については、今後とも地元企業の強みを生かしたきめ細かいメンテナンスに努め、発注者の信頼にお応えしていきたいと思っております。また、今後とも我々地元業者のこうした特性を活用していただければ幸いです。

をあげて出場選手や選手を出していただく企業には、支援・協力を申し上げる次第であります。毎年申し上げますように、これから先は、新築の建築物は先細りになると予想されておりますので、新しい事業分野への取り組みに全力を尽くして参りたいと思っております。

来、県空調衛生工事業協会、会津通り支部と合同で実施しております技術講習会等を昨年も行いました。また、この歳末には同支部と合同で安全パトロールを実施したところでもあります。

備投資が非常に冷え込みましたから、支部会員の皆さんもなかなか容易ではなかったのではないかとと思っております。本年は、崩壊二年目となりまして、皆さんがどうやって乗り切っていくかということをお聞きして行かなくてはならないと思っております。今後とも県当局には、お一層のご指導をお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。

新春座談会出席者

(敬称略)

【県土木部都市局】

営繕課長 ……鈴木 康之

【社団法人 県電設業協会】

会 長 ……松 崎 勉雄

副 会 長 ……佐 藤 春雄

同 ……齊 藤 正良

司 会 ; 清野孝信 専務理事

八月二十四日には、現場研修会を開催いたしました。県が白河市に建設中でありました埋蔵文化財センターの工事現場を七十八名の参加のもとに

見学、研修しております。十一月二十七日には、中堅・上級者研修会をビッグパレットふくしまにおいて開催いたしました。

は、参加選手を物心両面で支援するための事業を行っているわけでございます。これは、若手技能者の育成につながるのではないかとと思っております。

佐藤副会長 技能五輪全国大会への参加については、過去に静岡、群馬の技能五輪全国大会の開催により技能の振興が図られるものと期待しております。昨年は埼玉県で大会がありまして、これには郡山電機さんから一名、ムツ電さん、太陽電設さん、泉電設さんと、当協会からは会員企業より四名、それにユアテックさんから六名、それに県立

新しい分野へ

これまでの群馬や静岡大会では、出場選手が課題完成までに至らなかつたということで、非常に壁が厚いと感じており、したがって、今回の埼玉大会では、出場選手の半数が完成しました。今年の大会は、出題の難易度が高くなりまして、課題完成だけでもなかなか大変なことなのですが、作品の仕様、設計を解説する力の強さが求められます。競技会場では、パネルに位置が決められておりまして、自分なりに設計を行って、スミ出しをして配線、機器取り付け完了に至るまで約五時間半の競技を行います。今年には半数の選手が完成までこぎ着けて、今回出場した選手は来年の大会に向けて確かな手応えを感じたんじゃないかなと思います。郡山高等技術専門校の渡辺先生が

非常に熱心に指導してくれましたし、かつて全国大会に出場した方の指導を受けたらして選手強化に努めて参りました。今年の福島県大会では非常に期待が持てるのではないかと思います。先程、いわき支部長から話が出ましたように、



鈴木課長

永く生きる建築に努力

耐久性向上や保全業務拡充

返っていたら、十二年前に実施された工管理技士会が活動を始めておりまして、今回の大会視察にも技士会の会長、副会長にも参加していただきました。人材教育の面からも成果が上がったのではないかと思います。

鈴木課長 あげましておめでとうございます。電設業協会の皆様には、常日頃から営繕工事に関わりましてご協力いただき誠にありがとうございます。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、二十一世紀を迎え、二十年代の高齢成長期を振り返りますと、今とは全く時代が違っておりまして、物も施設も非常に少ないという状況にございます。色々な現象がありますが、そういった点では、施設だけではなくて中味についても細かな内容が求められているのではないかと思います。

私も安全で安心できる公共建築の整備というものを根底に考えているわけですが、歴史の長い建物を見ますと、今と今とでは耐震対策上、昔と今の考え方が多少違うということ、安全で安心できる公共建築をどう改善するか、という問題がひびひと出てくるわけですね。そういった面では、防災拠点になる施設とか、住民避難・緊急医療活動を行う施設について良質な既存建築物としてのストックができていないというところがございます。

今日、地球環境問題が、世界的に議論されているわけですが、こうした問題に対応するため、環境負荷の低減への取り組みというものが、組んでいける部分であり、建築物単体で存在するということではなく

に追加して、地域環境への配慮とか、地域環境の保全とか、ローマライゼーションの対応などを施設整備に組み入れまして、さらに施設の耐用年数の延伸とライフサイクルコストの低減を目的に耐久性の向上や保全業務の拡充を図ることに努めていくところであります。

協会 協会の活動状況をお話しさせていただきます。また、次に県営課課

さんが昨年一年間を振り返りましたが、次に県営課課

域と地域、そして住民と行政が相互に深く結びつくことにより躍動する、新しい時代のネットワーク社会「ふくしま」を築いてまいりたいと考えております。

村の持続的発展に向けた取り組みなどの産業振興施策、さらには自然との共生を図るための環境・景観対策や、情報通信革命に即応した施策を展開するとともに、首都機能移転や地方分権の一層の推進を図り、二十一世紀のわが国のモデルとなる県づくりに進めてまいります。

人口の推計を見ますと、例えば二〇五〇年には今の人口の八〇％に減少するという見通しもあります。二十一世紀後半には五〇％くらいになるという見通しもありま

すので、やはり高齢者に対する対応を公共施設としてもやっていかなければ、使いにくい建物、困る建物が増えるということになると思っております。

かがいいたいと思います。鈴木課長さんのお話から、量から質へというニーズの変化があることと、量的に充足してきたからこそ、ストックをこれからどのように管理、改修していくかということが課題だと言ったことがよくわかりました。

「ふくしま新世紀プラン」の下に、人と暮らしを重視した七つの生活圏づくり、美しい自然や優れた景観の保全、会津大学の開学に代表される次代を担う人材の育成など、常に二十一世紀を見据えた施策を展開してまいりました。この間、福島空港の開港や磐城自動車道の全線開通をはじめとする高速交通網の整備が飛躍的に進むとともに、「ビッグパレットふくしま」

「フオレストパークあだたら」「アクアマリンふくしま」などの新しい価値観に基づいた交流拠点も各地にオープンし、本県発展の基盤は着実に形成されてきております。このように、人と暮らしを重視した七つの生活圏づくり、美しい自然や優れた景観の保全、会津大学の開学に代表される次代を担う人材の育成など、常に二十一世紀を見据えた施策を展開してまいりました。この間、福島空港の開港や磐城自動車道の全線開通をはじめとする高速交通網の整備が飛躍的に進むとともに、「ビッグパレットふくしま」

「人間・人格・人権の尊重」、「人と自然との共生」などの価値観を大切にしながら、人と人、地

このような中、今年には男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点「男女共生センター」や地域文化創造拠点として県内で発掘された文化財を保護・展示する「文化財センター」自河館（仮称）の

また、防災対策や少子高齢化対策などの県民の命の安全を守り、人権を尊重した社会を築く政策を、本年も県政に對する一層の御支援助と御協力をお願い申し上げます。

本年が、そして二十一世紀が皆様にとって明るい時代となりますよう全力を尽くしてまいります。

私どもは安全で安心できる公共建築の整備というものを根底に考えているわけですが、歴史の長い建物を見ますと、今と今とでは耐震対策上、昔と今の考え方が多少違うということ、安全で安心できる公共建築をどう改善するか、という問題がひびひと出てくるわけですね。そういった面では、防災拠点になる施設とか、住民避難・緊急医療活動を行う施設について良質な既存建築物としてのストックができていないというところがございます。

今日、地球環境問題が、世界的に議論されているわけですが、こうした問題に対応するため、環境負荷の低減への取り組みというものが、組んでいける部分であり、建築物単体で存在するということではなく

に追加して、地域環境への配慮とか、地域環境の保全とか、ローマライゼーションの対応などを施設整備に組み入れまして、さらに施設の耐用年数の延伸とライフサイクルコストの低減を目的に耐久性の向上や保全業務の拡充を図ることに努めていくところであります。

建設リサイクルの推進も課題です。具体的手法については、これから先に委ねなくてはならないことも多々あると思っております。

美しいふくしまを実現

福島県知事 佐藤 栄佐久



「人間・人格・人権の尊重」、「人と自然との共生」などの価値観を大切にしながら、人と人、地

また、防災対策や少子高齢化対策などの県民の命の安全を守り、人権を尊重した社会を築く政策を、本年も県政に對する一層の御支援助と御協力をお願い申し上げます。

本年が、そして二十一世紀が皆様にとって明るい時代となりますよう全力を尽くしてまいります。

私どもは安全で安心できる公共建築の整備というものを根底に考えているわけですが、歴史の長い建物を見ますと、今と今とでは耐震対策上、昔と今の考え方が多少違うということ、安全で安心できる公共建築をどう改善するか、という問題がひびひと出てくるわけですね。そういった面では、防災拠点になる施設とか、住民避難・緊急医療活動を行う施設について良質な既存建築物としてのストックができていないというところがございます。

今日、地球環境問題が、世界的に議論されているわけですが、こうした問題に対応するため、環境負荷の低減への取り組みというものが、組んでいける部分であり、建築物単体で存在するということではなく

に追加して、地域環境への配慮とか、地域環境の保全とか、ローマライゼーションの対応などを施設整備に組み入れまして、さらに施設の耐用年数の延伸とライフサイクルコストの低減を目的に耐久性の向上や保全業務の拡充を図ることに努めていくところであります。

建設リサイクルの推進も課題です。具体的手法については、これから先に委ねなくてはならないことも多々あると思っております。

「ふくしま新世紀プラン」の下に、人と暮らしを重視した七つの生活圏づくり、美しい自然や優れた景観の保全、会津大学の開学に代表される次代を担う人材の育成など、常に二十一世紀を見据えた施策を展開してまいりました。この間、福島空港の開港や磐城自動車道の全線開通をはじめとする高速交通網の整備が飛躍的に進むとともに、「ビッグパレットふくしま」

「フオレストパークあだたら」「アクアマリンふくしま」などの新しい価値観に基づいた交流拠点も各地にオープンし、本県発展の基盤は着実に形成されてきております。このように、人と暮らしを重視した七つの生活圏づくり、美しい自然や優れた景観の保全、会津大学の開学に代表される次代を担う人材の育成など、常に二十一世紀を見据えた施策を展開してまいりました。この間、福島空港の開港や磐城自動車道の全線開通をはじめとする高速交通網の整備が飛躍的に進むとともに、「ビッグパレットふくしま」

「人間・人格・人権の尊重」、「人と自然との共生」などの価値観を大切にしながら、人と人、地

このような中、今年には男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点「男女共生センター」や地域文化創造拠点として県内で発掘された文化財を保護・展示する「文化財センター」自河館（仮称）の

また、防災対策や少子高齢化対策などの県民の命の安全を守り、人権を尊重した社会を築く政策を、本年も県政に對する一層の御支援助と御協力をお願い申し上げます。

本年が、そして二十一世紀が皆様にとって明るい時代となりますよう全力を尽くしてまいります。

私どもは安全で安心できる公共建築の整備というものを根底に考えているわけですが、歴史の長い建物を見ますと、今と今とでは耐震対策上、昔と今の考え方が多少違うということ、安全で安心できる公共建築をどう改善するか、という問題がひびひと出てくるわけですね。そういった面では、防災拠点になる施設とか、住民避難・緊急医療活動を行う施設について良質な既存建築物としてのストックができていないというところがございます。

今日、地球環境問題が、世界的に議論されているわけですが、こうした問題に対応するため、環境負荷の低減への取り組みというものが、組んでいける部分であり、建築物単体で存在するということではなく

に追加して、地域環境への配慮とか、地域環境の保全とか、ローマライゼーションの対応などを施設整備に組み入れまして、さらに施設の耐用年数の延伸とライフサイクルコストの低減を目的に耐久性の向上や保全業務の拡充を図ることに努めていくところであります。

建設リサイクルの推進も課題です。具体的手法については、これから先に委ねなくてはならないことも多々あると思っております。

(次頁に続く)

膨大なストックを維持

安全確保と機能性向上を

(前頁から続く)

鈴木課長 県有施設のストック状況でございますが、種別毎にお話ししてみたいと思います。県有施設としては、まず、合同庁舎関係がありますし、合同庁舎以外の出先の庁舎等があります。この関係では九十八施設を数えます。県職員が同居する公舎が三千戸を超えている数でありまして、その他に医科大学をはじめとする教育庁の施設、警察関係の施設というように分類されると思います。

現在、県有施設の延べ面積はおよそ百八十万平方メートルになります。このほかに県が所有している建物として住宅関係がございます。県営住宅がおよそ八千戸で、非常に膨大な量になっていくわけですが、これらの施設がいつ頃つくられたのかということに触れてみたいと思います。

現在の建物は、ほとんどが耐火構造になっておりまして、昭和三十年代後半から四十年代、五十年代にかけて、従来の木造から耐火構造に建て替えられました。例えば、県営住宅のデータを見ても、先程全体で八千戸と申し上げましたが、昭和四十年代前半に建設された戸数は、年間二百七十戸くらいでした。ところが、年を追う毎に新設数が増えまして三百戸を超える時代が四

十年代後半から始まりまして、ピーク時は四十九年、五十年で、年間五百戸、六百戸という数字になっていきます。それ以降、五十年の後半くらいまで二百戸台が続きます。六十年代に入りまして二百戸を割るような数字、そして最近では百戸、百五十戸というオーダーです。

ない機能が維持できない状況になっていいると思われま。電気設備も、従来のまま使う分には支障がないのかも知れませ

暮らしの移り変わり

家電品使用に合う設備へ

司会 今のお話の中で、時代背景の違いについてのお話がありました。安全面とか機能面、管理面で、三十五年前と現在とでは、どのような点が違ってきたと思われまか。

鈴木課長 例えば建築における安全面で耐震の考え方を述べてみたいと思います。建築基準法に基づいて設計され、施工されておりますが、十勝沖地震や宮城県沖地震、さらに阪神淡路大震災など大きな地震による被害が出たことにより耐震性による考え方が変わってきました。現在は、建物としてより柔軟性のある建物をつくるという観点で建築基準法の内容が一部改正されております。

それから時代背景の点で電気設備を考えると暮らしの移り変わりが分かります。住宅の契約電力を振り返ってみますと昭和三十年代の頃は五アンペアという時代もありました。今は三〇アンペア、五〇アンペアは住宅においても当たり前とな

改修をどう進めるか

そうしたことを考えますと、やはりストック状況を踏まえて改修をどう

進めるか、もちろん建築的構造が丈夫だからそのまま使うということではなくて、内部は痛んでいきますから対処しなくてはならない。それまでの間は、建築も機械設備も電気設備も補修しながら使っているわけですが、二分の一を超える時期になりますと、単なる補修では済まなくなるの

後からアフターサービスが始まるわけですが、古い電気設備の問題点は何かでしょうか。

松崎会長 課長さんからもお話があったように、時代背景の違いを感じるのは、不点事故が起きた場合に現場に行ったら、三力所しかありませんでした。これは必要としなかつたんだと思えます。台所に冷蔵庫はありませんでしたし、扇風機すらない時代でしたから、五アンペアというも理に適っていたんではないかと思えます。今では、いろいろな家電品が入っておりますから電気がなければ家庭生活も仕事も成り立たない時代と言えま

ダイオキシン対策

新材料の開発進む

司会 建築、設備ストックについてお話をうかがいましたが、時代の要請として環境対策と高度情報化への対応がクローズアップされています。そうした問題について、国や県の動きを聞かせていただけますか。

鈴木課長 環境という観点から、国の方ではダイオキシン等有害物質の発生を抑えるために、エコケープの使用などが検討されています。このエコケープは、ポリエチレンそのものですがダイオキシンを発生しないわけでは、国このケープを使用しているのが現状です。

東北六県では、まだ採用されておられません。その理由としては、通常、IV線などビニール電線を使っておられますけど、価格的に一・三倍程度のアップが見込まれていま

PCB入り安定器

早期取り替え必要

鈴木課長 PCB入り安定器ですが、これは昭和四十七年の行政指導により製造が中止されてお

まうことが多いですから考慮していく必要があると思われま。それから社会的な問題になっております東京都の多摩地区や千葉県などで発生したPCB入りの安定器が破裂して児童にPCBが付着したという事故を重大に受け止めています。官民合せてPCB入りの安定器を使っていない蛍光灯が全体の六分の一くらいあるという調査結果も出され、そうした機器の数の多さに驚いたところでは、差し支えなければ県としての対応をうかがいたいと思いま

太陽光発電の普及

クリーンエネルギーに期待

司会 それでは、省エネルギーや新エネルギーについて話題としたいと思

鈴木課長 新エネルギーの導入については、省エネルギー、具体的にはソーラー発電、風力発電などがありますので、こうした考え方が出てきた背景についてお話ししたいと思います。

まず、エネルギーのセキュリティ向上という問題があります。これは、日本におけるエネルギー自給率は、原子力を含めてもわずかに二割程度で、先進国の中では最も



佐藤副会長

司会 電気設備は完成

松崎会長 課長さんか

司会 建築、設備ス

鈴木課長

鈴木課長

排水関係は更新されてい

りまして。昔の五アンペ

アというのには決して小さ

問題もありませんから、な

低い水準にあります。そ

が積極的であるというこ
とが言われております。
それに対して風力発電
や燃料電池に関しては、
九割以上が導入する考え
はないような回答になっ
ておりまして、際立った違
いがあるということにな
ります。新エネルギー
導入促進のためには、何
が導入を阻害する要因と
なっているのか、どの条
件を改善していけば導入
促進につながるのかを調
査検討して、計画的かつ
効率的な新エネルギーの
導入を図る必要があると
考えております。

本県では、新エネルギ
ー対応の総量としての賦
存量が膨大にあるという
ことですが、総量として
賦存量があったとしても
も、エネルギーの密度は
極めて希薄であると思
います。非常に量はある
だけで、密度は低いとい
うことで、新エネルギー

は分散型を前提に考えな
くてはなりません。それ
ぞれの地域が賦存量と
需要状況を照らし合わせ
ながら計画的な導入を図
っていく必要があると言
われております。
その観点で、政府の動
きや考え方も関連して
るわけですが、今後、
地球環境をいかによくす
るかということも踏まえ
た場合には、新エネルギ
ーの導入は無視できない
問題であり、政策的にも
見直される部分がある
と思っております。現にソ
ーラー発電については、国
の補助がついておりま
すし、ドイツの事例を見
ますと、日本よりも政策的
に非常に強く打ち出して
いるようですから、今
後、こうしたものがま
ず重要視されてくると
思います。

本県における事例です
が、まず、ハイテクプラ
ザ会津若松技術支援セン
ターが現在工事中で大体
七割を超す出来高にな
っておりますが、ここにソ
ーラー発電を入れまして
一五〇キロワットの発
電、恐らく県内最大にな
るかと思っております。そ
うしたものが形になりつ
つあります。年間使用想定
電力量からすると恐らく
五割強を賄うことは間違
いないだろうと思ってお
ります。こうしたソーラ
ー発電の実施例がありま
す。

省エネルギーという観
点では、建築構造は省エ
ネルギーを考慮したもの
とするということで、例
えば断熱材を検討してお
りますし、厚い外壁と
か、窓の遮光措置とかの
工事を行っております。
電気関係では照明の消
忘れが考えられると思
いますが、教室やトイレ等
には循環センサーを採用
して省エネルギーを図
っております。昨年完成し

た男女共生センターに
は、照明主操作盤で共用
部分を一時毎のスケジ
ュール管理で省電力を図
っております。もう一点
は、各部屋における照明
スイッチの系統を窓側と
壁側にわけて自然光の照
度を利用して昼間の廊下
側の照明を消灯するなど
の工夫もしております。
また、もう一つの例と
しては昨年の七月にオー
プンしました海洋化学
習施設・アクアマリンふ
くしまでは、コ・ジェネ
レーションシステムを導
入しております。二〇〇キ
ロワットを超えないよう

的・効率的な事業の執行
を図り、良質な社会資本
を後世に引き継いでまい
りたいと考えておりま
す。

さて、昨年は、常磐自
動車道の北伸や磐越自動
車道の四車線化の整備促
進をはじめ、「阿武隈東
道路」の本格的な調査着
手、「阿武隈川平成の大
改修」の概成、福島空港
二、五〇〇滑走路の全
面供用開始、堀川ダムの
完成、小名浜港ガントリー
ークレーンの整備稼働な
ど、県土基盤の整備が大
きく進展いたしました。

平成十三年におきまし
ては、本年三月二十七日
に「あぶくま高原道路」
を進めるに当たりまして

は、今後厳しさが増す財
政状況の中で、施策の重
点化や効率化、透明性の
確保を図りながら、少子
・高齢化への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

は、現在、県長期総合計
画の土木部版となる「ふ
くしま県土建設プラン
(仮称)」の策定を進めて
おりますが、今後もち
ろ「21」が策定され、人
と、地域と地域、住民と
行政などのさまざまなネ
ットワークが多彩に展開
する社会の形成といった
新しい視点を取り入れた
考え方や方向性が示され
るところであります。

今、少子高齢化の一層の
進行や情報通信技術の飛
躍的發展、地球環境問題
の顕在化など社会経済情
勢が大きく変化して
おります。こうした変化に
対し、昨年末には、
二十一世紀初頭の県政の
基本方針である新しい長
期総合計画「うつくしま
21」が策定され、人
と、地域と地域、住民と
行政などのさまざまなネ
ットワークが多彩に展開
する社会の形成といった
新しい視点を取り入れた
考え方や方向性が示され
るところであります。

21世紀の新たな発展の ための県土基盤の構築

福島県土木部長
坂本 晃一



は、現在、県長期総合計
画の土木部版となる「ふ
くしま県土建設プラン
(仮称)」の策定を進めて
おりますが、今後もち
ろ「21」が策定され、人
と、地域と地域、住民と
行政などのさまざまなネ
ットワークが多彩に展開
する社会の形成といった
新しい視点を取り入れた
考え方や方向性が示され
るところであります。



齊藤副会長

自家発電でコスト減少

電力の規制緩和で導入進む

にできます。もうひとつ
の目的は、発電による廃
熱利用があります。廃熱
を利用して温水をつく
り、施設内で飼育する生
物のうち、温かい地域に
生息する水槽に供給でき
るといふ一石二鳥の役割
となっております。こう
した事例があります。

松崎会長 太陽光発電
の施工実施例としては、
福島大学、国立福島工業
高等専門学校、いわき市
のふれあい健康福祉プラ
ザのほか、民間でも多
数あります。

それから課長さんのお
話にありました会津のハ
イテクプラザ技術支援セ
ンターでも私どもの協会
の会員が施工を行って
おります。

太陽光発電は、自然界
の矢吹IC・玉川IC間
の供用開始を予定してい
るほか、引き続き残りの
区間の整備促進や小名浜
・高輪への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

は、今後厳しさが増す財
政状況の中で、施策の重
点化や効率化、透明性の
確保を図りながら、少子
・高齢化への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

は、今後厳しさが増す財
政状況の中で、施策の重
点化や効率化、透明性の
確保を図りながら、少子
・高齢化への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

は、今後厳しさが増す財
政状況の中で、施策の重
点化や効率化、透明性の
確保を図りながら、少子
・高齢化への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

確かに設備のインシヤ
ルコストは高くなってし
まいますが、想定では八
年くらいで初期の投資が
回収できるだろうと思っ
ております。そういう面
で、ランニングコストは
年間二千万円くらい節約
できることになりました。

佐藤副会長 電力の規
制緩和により、電力をど
こから買っても良いこと
になりましたが、今、話
題になっております地球
環境に優しいエネルギー
と云うことになりました
と、太陽光発電や風力発
電が上げられます。昨年
の十月に電力会社で、太
陽光あるいは風力発電の
設備を整備されて、余
た電力を電力会社に売電
する際の価格を出したん
ですが、これがかなり高
いらしいですね。一キ
ロワットあたり二十一
円五十八銭と聞いており
ます。なおかつその設置
には助成金をつけること
になっておりキロあたり
一円五十銭を助成すると
いうことになるんです
ね。そうすると電力会社
では、電力を高い料金で
買い上げて、なおかつそ
うした助成金を出すと
いうことで大変なこと
なので、東北グリーン電力
基金制度をスタートされ
ました。これは、任意
で、一口あたり月額五百
円。何口でも大丈夫です
が、こういったものもひ
とつの企業として、ある
いは団体として協賛す
ることも必要なのかなと考
えております。

鈴木課長 私もその話
を聞いております。助成
金を出すのは国ではない
んですかね。ドイツでは
国が補填する制度になっ
ていて、相当インシヤル
コストの回収が早いそう
ですよ。我が国の場合は

電力会社が行うことにな
るわけですね。
電力自由化の流れ
では、自家発電が注目
されており、工場関係を
中心に導入が進んでいる
ようですが、そうした施
設の施主や管理者の意識
は変わってきているん
でしょうか。

佐藤副会長 そう規模
が大きくない工場でも自
家発電設備を施して、電
力使用のピーク時には自
家発電を活用して工場シ
ステムを稼働させる。ピ
ーク時でない時は商用電
力を行う形になってきま
した。県施設においても
もあつま総合運動公園の
公式野球場照明等では、
商用と自家発電を併用し
ています。なるほど、野
球場の夜間照明は使う時
間がごく限られています
から、基本料金を高く設
定しておくということも
大変なことなんです。工
場でもそうした考え方に
シフトしており、我々の
ところにも「どうすれば
良いんですか」と提案を
求めているところはあり
ます。小さな工場でも考
えているところはありま
すので、我々が取り組む
べき課題だと思ってお
ります。

松崎会長 先程、課長
さんが話されたアクアマ
リンふくしまの関係で
は、二〇〇〇キロワット
を超えると特別高圧受
電になるため、商用と自
家発電を組み合わせて賄
う形がつかれました
が、別な一面もありま
す。今は原油が高騰して
おりますが、安定したと
きにはコストが安くなる
ため、工場だけではなく
て広い売り場面積を抱
えるスーパー等でも一五
〇キロワット以上になる
から二〇〇キロワット
程度の容量で電気を使わ
れる企業で、商用と自家
発電を併用されるケース
に対応しておりますの
で、協会としてもPRを
行って、ひとつの事業分
野にしていきたいと思
います。

鈴木課長 先程、アク
アマリンふくしまのコ
ージェネレーションシス
テムについてお話をしま
したが、平成五年に開学
した県立会津大学にも
・ジェネレーションシス
テムが導入されてお
ります。目的は、会津大学
には多数のコンピュータ
が入っておりますので電
源のバックアップシス
テムとして、無停電装置
が設置されています。もち
ろん、特別高圧受電も二
系統入っているんです
が、無停電装置がひとつ
入っている。さらに、最
小限の電源確保のために
通常の発電装置もあり、
さらにコ・ジェネレシ
ョンシステムがありま
す。そうしたものを持
って電源を安定して確保
するという考え方でした。
最近では、コスト管理の
一環として考えられて
いるような気がしますね。

は、今後厳しさが増す財
政状況の中で、施策の重
点化や効率化、透明性の
確保を図りながら、少子
・高齢化への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

は、今後厳しさが増す財
政状況の中で、施策の重
点化や効率化、透明性の
確保を図りながら、少子
・高齢化への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

は、今後厳しさが増す財
政状況の中で、施策の重
点化や効率化、透明性の
確保を図りながら、少子
・高齢化への対応や環境
への負荷の少ない社会の
形成にも配慮すること
に、県民生活に密着した
社会資本の整備を進め、
二十一世紀の新たな発展
のための県土基盤の構築
を着実に推進してまい
りたいと考えております。

今後とも、皆様のより
一層の御支援と御協力を
賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年
が幸多い年でありますよ
うお祈りいたしました。
新年のごあいさつとい
たします。

高度情報化を担う設備

ネットワーク社会を構築

(前頁から続く)

司会 それでは、話題を高度情報化への対応について話題を移していきたいと思えます。県では、Eビジョンを策定されましたが、これからの建築や設備の中に求められる高度情報化対応の具体的な要件からうかがいたいと思えます。

鈴木課長 県では、うつくしまEビジョン・イグドラシルプランを策定しました。具体的な行動は、今後十年間における福島県の高度情報化・通信社会構築に向けた将来ビジョンと今後三年間の高度情報化推進に関する具体的な施策が示されており、計画の期間は、基本目標達成年度が二〇一〇年になっております。第一期の基本計画目標達成年度が二〇〇三年度でありまして、第一段階では行政情報の進展でありOA化として汎用機導入とか、パソコンでの処理、ワープロの導入があります。第二段階として各行政機関のネットワーク化があります。各庁内LANとか、グループウェア、クライアントサーバなどの中味が入っております。第三段階としては、各行政機関相互、行政と住民・企業間情報の電子化があります。これは、対外情報交換の電子システム化、広域分散処理というのがありまして、二〇〇三年度を目標とする内容としては、電子政府とか総合行

政ネットワーク、それから住民基本台帳ネットワーク等が考えられております。それから、二〇〇五年度の目標としては、スーパーインターネットの構築とか、誰でも情報を入力することができ、状況づくりが謳われております。

技術情報収集と実績の積み重ね

司会 会長、高度情報化に対してはどのようなお考えをお持ちですか。

松崎会長 電気は基本的にクリーンで安全なエネルギーであると言えます。今、エネルギー効率のアップとコストの削減が求められていますが、深夜電力の活用により電気料金をもっと下げられないかといった要望も出されております。

そういったニーズに応えられるような事業者を、目指して電力会社さんとも連携して情報の収集や実績の積み重ねに努めているところですね。

また、インターネットの普及により、図面のやりとりや見積書の提出もオンラインで行いたいという発注者からの要望も強まっておりますので、協会ではそれぞれ対応しているところではないかと思えます。IT革命と呼ばれる動きの中で、新築物件のみならず既設物件のリニューアルに関し

で、県が進めるのは県庁舎と出先機関のネットワーク化をまず進め、次に各出先機関から市町村へのネットワークというところになると思えます。さらに市町村から住民という流れでしょう。

世界樹と言うようなんですが、ネットワークを底辺まで進めて情報化を図る。これについては、いろいろな問題がありそうですが、各庁から様々な情報化施策がさかんに出ておりますけど、それぞれ、いわゆる情報通信設備は不可欠なものとなっておりますから、施工担当者にもそうした面での知識や配慮がないとお客様の信頼を得られない状況です。加えて、情報技術の進展には目を見張るものがあり、常に最新の情報に接していないと時代遅れになってしまいがちです。会員企業では、それぞれ努力されていることとは思いますが、協会としては思いますが、協会としてもなんらかの形で講習会を開いたり、あるいはネットワーク化を進めることで、協会と会員企業間でデータのやりとりをするなど、組織的な対応を模索中です。

都市圏から進むLAN構築整備

司会 リニューアルをテーマにお話をうかがってきたなかで、省エネルギーや新エネルギー、あるいは環境問題、高度情報化への対応というポイントが出されましたが、民間の施主や施設の維持管理者の意識についてはいかがでしょうか。

松崎会長 官民含めて

ういったもの一元化を図ってこういうことでは、施設建設の立場として、対応するかが問題になります。これからつくる施設はもちろんですが、古い施設に対してもLANシステムが構築される部分もあるでしょう。今後、つくる施設については、情報としてのスペースを当然考えなくてはならないと思えます。

過去において会津大学発注者の皆さんには、それぞれ考え方の違いはありますが、福島、郡山、いわき、会津若松など都市圏では情報化に備えてLANの構築・整備などが進んでいるんじゃないかと思えます。

また、課長さんが話されていた県としてのネットワーク整備に、対応するために、我々も時代を先取りした技術の習得が必要で、いざ、実施の段階で会員が対応できないようでは困りますから、よく考えながら準備を進めていきたいと思います。

ライフサイクルコストを尺度に

鈴木課長 公共建築については、「永くいきる建築」という考え方で取り組んでおりますが、一般的に考えた場合は、必ずしも永く持たなくても良いケースがあると思えます。そういうものを同一視することはできないと思えますが、永く使う建築を考えた場合、建物をつくる際の仕様というものが重要だと思えますし、いかにレベルの高い仕様を導入するかがカギとなると思えます。これに伴って工事費は当然高くなりますが、それに伴って意識の持ち方が一番大切だと思っております。

当初、インシヤルコストはかかるかもしれないけれど、長持ちすることに、最終的には一年あたりの原価消却が安くなるという作り方が必要じゃないかと思っております。我々がやっている建築

でできるものについては、会員の活用をお願いいたします。

鈴木課長 専門性にあつたものということですね。

配線工事については、電気工事業者がやっても通信工事業者がやってもいいんですけど、そこに留まらない場合にどうするかが課題ですね。

松崎会長 技術委員会を中心に技術の習得に努めます。

とにかく新築の建築物は先細りですから、太陽光とか光ケーブルなどの

新分野に取り組みないと業界の将来は拓けないと思えます。協会として、電気は多少なりとも関連のあるものについては、全て対応できるように講習会を行ったり知識やノウハウの習得に努めていきたいと思います。

司会 ところで、最近では価格競争ばかりで品質とか耐久性などに関する議論がおさなりにされているように思われます。今後、より良い建築・設備ストックを構築するために啓蒙活動が必要だと思えます。

佐藤副会長 これまでも交通信号機の清掃や西暦二〇〇〇年の停電対策など地域に貢献する事業を実施してきました。これからの啓蒙活動の一つとして、ただ今課長さんのお話にありましたように永く生きる建築を持続させるためにも、建築(構造体)に比べて耐用年数が短い電気設備の補修や改修、点検整備などの業務等を地域業者の持味を活かして迅速に対応し、発注者のニーズを満足させるアフターサービスの向上を図るとともに、その啓蒙活動を真剣に検討してまいりたいと思えます。

鈴木課長 啓蒙活動なんですけど、良い建築をつくるという観点では、建築と設備を含めて設計をする立場、施工をする立場の方が情報を共有して風通しの良い環境をつくるのがまず必要だと思えます。

もうひとつ大切なこと

の場、将来に向けた管理までを考慮してはいけないと思えます。それから、先程、耐用年数の話が出ましたが、時代背景から内容も変わってきているんですけど、そういうものにもどう対応できるかは、建物の作り方にかかってくると思っております。例えば機能的な面からすれば、将来的に必要とされる機能が変化したときに使う平面をどう考えるか、壁の構築などをどうするかということも、ひとつありますね。また、特に大事なことは設備面、ある時期に必ず大きく手を加える時期が来ますから、その時に手を加えられるような設備面のコアを意識してつくっていくことが必要だと思えます。やはり、完成した時だけのことじゃなくて、将来的に建物を壊さずに一部手直すだけで、改修できることが大事だと思えます。

司会 協会としての啓蒙活動はいかがでしょうか。



地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

岡田電気産業株式会社

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

本社 〒979-3131 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL(0246)25-6111 FAX25-6101

営業所

白河	TEL(0248)27-3385代
須賀川	TEL(0248)72-7136代
南会津	TEL(024)923-3298代
北会津	TEL(024)939-3081代
津波	TEL(0242)28-2155代
会津	TEL(0242)37-2660代
原町	TEL(0244)22-5105代
相馬	TEL(0244)35-1234代
福島	TEL(024)546-3700代
福島	TEL(024)553-1181代
いわき	TEL(0246)28-6111代
勿来	TEL(0246)62-3122代

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・栃木県内・新潟県内 21ヶ所
住設建材営業所 福島県内 5ヶ所

東北ヤンマー株式会社

いわき支店

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL(0246)581-5811
FAX(0246)581-5688

FA・OAのシステムプランナー

株式会社ニノテック

代表取締役社長 樽川次男

本社 〒963-8034 郡山市島二丁目44-2
Tel(024)935-1700代

支店 仙台
営業所 いわき・福島

受変電設備・太陽光発電・照明器・換気扇・空調機

三菱電機ライフファシリティーズ東北

福島統括支店

福島支店 TEL(024)534-7198
郡山支店 TEL(024)959-6060
いわき支店 TEL(0246)26-0286
会津営業所 TEL(0242)27-4425
原町営業所 TEL(0244)22-8821

は、使う立場の県民や施設を運営する人との情報交換ですね、コミュニケーションを良くすること、

松崎会長 冒頭に申し上げましたように建設業を取り巻く環境は非常に厳しいわけですね。その中に設備というものがあつて、市民生活にも企業活動にも電気がなければ成り立たない状況でありまして、

互いにより良い施設を目指そう 司会 新年の抱負と、新年度の営繕事業見直しをお聞かせいただければと思います。

鈴木課長 十二年度は総額で四百九十九億円(当初)の事業費をもって各種の事業を鋭意進めていくとありますが、

時代潮流を認識し淘汰されない力を 司会 貴重なご意見、

平成13年の事業展望

福島県土木部都市局 建築住宅課 今日、少子高齢化の進行や社会経済の成熟化、情報通信技術の革新など、住宅を取り巻く環境も大きく変化し、多様なライフスタイルに対応した住宅政策の展開が求められております。

また、民間住宅ストックに対して計画的な建

とです。淘汰されないようにするにはどうしたらいいのか、

見通しです。 昨年完成しましたア

高等学校の施設では、 福島女子と相馬高校が十

つてまいります。 一方、建築行政の推進

福島県土木部都市局 営繕課 私ども営繕行政に携わる者として、

おめでとうございます。 以上を持ちまして座談会を終了致します。

岩崎電気株式会社

東北電力

東北電気保安協会

戸部電材株式会社

岩崎電気株式会社 EYE ツインアーク

株式会社 戸上電機製作所

TOGAMI ELECTRIC

戸部電材株式会社

東北電気保安協会

オール電化住宅

高断熱・高気密住宅のベストパートナー

協会の動き

【10月】

- 2日・第4回総務委員会(正副会長、各総務委員、専務)福島市/協会会議室
- 3日~5日・郡山支部研修旅行(郡山支部会員)北海道
- 6日・福島民友新聞株式会社社長・社長就任披露パーティー(会長)福島市/ホテル辰巳屋
- 東北ブロック電気工事・管工事施工管理技士会第1回理事会(会長)仙台市/KKRホテル仙台
- 6日~7日・福島支部研修旅行(福島支部会員)山形県ひじり温泉
- 7日・北川原温さんの受賞を祝う会(正副会長、郡山支部長、先崎・今泉・佐藤理事、高柳電設工業(株)、池添電設(株)、(株)エディソン)郡山市/ビッグパレットふくしま
- 11日・県住宅フェア実行委員会第2回幹事会(専務)福島市/県自治会館
- 13日・(株)県建設産業団体連合会第52回正副会長会議(会長)福島市/建設センター
- (株)県建設産業団体連合会第57回役員会(会長)福島市/建設センター
- 14日・第38回技能五輪全国大会福島県選手団結団式(専務)郡山市/ビッグパレットふくしま
- 16日・第2回監事会・会計業務打ち合わせ会(正副会長、各監事、會川理事、専務、事務局)福島市/協会会議室
- 19日・(株)日本電設工業協会会員大会(正副会長)香川県琴平町/琴参閣ホテル
- 20日・福島県設備設計事務所協会創立20周年記念式典(会長)福島市/ホテル辰巳屋
- 23日・10月度会計審査業務(佐藤会計理事)福島市/協会会議室
- 25日・会津支部ゴルフコンペ、移動支部会(会津支部会員)中の沢温泉/ボナリ高原ゴルフクラブ母成勤労者保養センター
- 27日・(株)日本電設工業協会東北支部第2回常任委員会(会長)仙台市/ユアテック
- 福島原子力懇談会平成12年度見学会(阿部、茂木)富岡町/福島第二原子力発電所、小名浜/アクアマリンふくしま
- 28日・(株)県国際交流協会主催地域国際化ネットワーク会議(阿部)猪苗代町/国立磐梯青年の家
- 29日・矯正光氏受章祝賀会(会長)福島市/ホテル辰巳屋

【11月】

- 6日・相双支部役員会(相双支部役員)原町市/相双地区電気工事協同組合

- (株)日本電設工業協会東北支部拡大政策委員会(会長、総務委員長)仙台市/仙台東急ホテル
- 8日・業務打ち合わせ(会長)福島市/協会会議室
- 9日・(株)岩手県電業協会創立30周年記念式典(会長)盛岡市/ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
- 第38回技能五輪全国大会「彩の国さいたま」視察研修(佐藤副会長、高橋・大室・車田・渡部技術委員)埼玉県与野市/さいたまスーパーアリーナ
- 10日・福島支部安全パトロール(福島支部長、支部技術委員会、福島市役所、支部会員現場代理人)福島市/協会会議室、支部会員代表現場
- 11日~12日・相双支部研修旅行(相双支部会員)長野県/立山アルペンルート
- 15日・業務打ち合わせ(会長)福島市/協会会議室
- 白河支部例会(白河支部会員)白河市/白河地区電気工事協同組合
- 16日・第2回広報委員会(各広報委員、専務)福島市/協会会議室
- 17日・第6回技術委員会(担当副会長、各技術委員、専務)福島市/協会会議室
- 第2回企業力評価検討委員会(総務委員長)福島市/ウェディングエルティ
- 東北ブロック電気工事・管工事施工管理技士会定時総会(会長)仙台市/メトロポリタン仙台
- 21日・六興電気(株)会長・社長就任披露の会(会長)東京都/ホテルオオクラ
- 会津支部例会(会津支部会員)会津若松市/会津支部会館
- 22日・11月度会計審査業務(佐藤会計理事)福島市/協会会議室
- 24日・うつくしま未来博「21世紀建設館」への出展打ち合わせ(会長)ウェディングエルティ
- 雇用・能力開発機構福島センター主催建設雇用改善推進会議(専務)福島市/ウェディングエルティ
- (株)県建設産業団体連合会主催第16回県建設雇用改善推進大会(専務、阿部)福島市/ウェディングエルティ
- 25日・うつくしま政経セミナー2000(会長)郡山市/郡山ユラックス熱海
- 27日・中堅・上級者研修会「第1回建設CALS/ECに向けた情報化体験セミナー」(正副会長、各技術委員、専務、阿部)郡山市/ビッグパレットふくしま
- 28日・電設新聞新春号掲載用「新春座談会」収録(県営課課長、正副会長、専務)福島市/協会会議室
- 29日・県への挨拶(会長専務)福島市/県庁
- 未来博「21世紀建設館」第1回出展打ち合わせ会(会長、先崎技術委員長)福島市/建設センター
- 30日・(株)県建設産業団体連合会平成13年度政府予算対策要望活動(会長)東京都/自由民主党本部

【12月】

- 1日・いわき支部親善忘年コンペ、忘年会(いわき支部会員)いわき市/クレストヒルズ、うおしん
- (株)県建設産業団体連合会傘下団体事務局専務会議(専務)福島市/建設センター
- 4日・建築設備工事東北ブロック会議(会長、専務)仙台市/仙台東急ホテル
- 6日・第5回総務委員会(正副会長、各総務委員、専務)福島市/協会会議室
- 7日・郡山支部例会(郡山支部会員)郡山市/郡山ビューホテルアネックス
- 8日・いわき支部年末安全パトロール(いわき支部会員)いわき市/現場4カ所
- うつくしま未来博打ち合わせ(専務)福島市/ウェディングエルティ
- うつくしま未来博推進大会(郡山支部長)郡山市/ビッグパレットふくしま
- 12日・技能五輪全国大会視察研修報告書作成打ち合わせ会(佐藤副会長、専務、高橋・大室・車田・渡部技術委員)福島市/協会会議室
- 未来博「21世紀建設館」第2回出展打ち合わせ(先崎技術委員長)福島市/建設センター
- 壁谷沢家(株)エディソン社長父上様告別式(会長)郡山市/郡山斎場
- 第1回役員会(全理事、全監事)福島市/福島ビューホテル
- 14日・原子力懇談会打ち合わせ(専務)福島市/ウェディングエルティ
- 15日・福島タイムズ主催新春座談会(会長)福島市/サンパレス福島
- 20日・県内における光ケーブル布設工事に係る地元業者活用についての要望(正副会長、郡山・会津支部長)東京・建設省
- 21日・11月度会計審査業務(佐藤会計理事)福島市/協会会議室
- 会津支部例会(会津支部会員)会津若松市/会津支部会館
- 福島支部例会、忘年会(福島支部会員)土湯温泉/山水荘
- 22日・未来博の出展打ち合わせ(先崎技術委員長)福島市・建設センター
- 26日・相双支部例会、忘年会(相双支部会員)相馬市/晴風荘
- 28日・年末挨拶回り(正副会長、専務)福島市/県、関係団体

年頭のごあいさつ

社団法人 福島県建設産業団体連合会

会長 黒和夫



二十一世紀の幕明けにふさわしい、希望に満ち溢れた新年をお迎えのこと、衷心よりお慶び申し上げます。

新しい世紀が皆様の生活にうらやましいと豊かさを実感できるように願うものであります。

国においても、中央省庁の再編による新しい枠組みをもって、景気を本格的に回復させ経済成長を促し、IT関連、環境、高齢化対策、基盤整備等を通じて、活力ある社会を目指し、また、県において七月から森と共に雇用の確保、安全で

生ずる暮らし、二十一世紀の県民生活を見通すうつくしま未来博覧会が開催されるなど、着々と体制づくりが進められております。

建設産業は、基幹産業として県民生活の向上、雇用の確保、安全で

安心して暮らす土づくりのため、建設連は各団体と一致結束し、建設産業を通じて積極的に役割を果たして参る所存です。

県、市町村並びに県民各位におかれましては、二十一世紀の初頭にあたり新たな心構えで前進しようとする建設産業団体連合会に対し、力強いご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ご活躍を祈ります



平成13年 年男・年女

- 添電設(株)、昭和二十八年七月十日生まれ
- ▽飛木久二郎(郡山支部・(株)仁井田電気商会、昭和二十八年三月十四日生まれ)
- ▽富沢千里(相双支部・(株)東京エレクトロ、昭和十六年九月二十五日生まれ)
- ▽荒秀夫(相双支部・光洋電設(株)、昭和十六年七月十七日生まれ)
- ▽渡部光一郎(会津支部・(株)桜電機商会、昭和二十八年五月十一日生まれ)
- ▽目黒勝(会津支部・(株)黒工業商会、昭和十六年十一月一日生まれ)
- ▽青田純(相双支部・(株)青田電気商会、昭和二十八年二月十九日生まれ)
- ▽池添昌宏(郡山支部・池添電業、昭和十六年十月十九日生まれ)
- ▽渡邊貞男(福島支部・(株)渡邊電業、昭和十六年十月十九日生まれ)
- ▽田電気商会、昭和二十八年七月十日生まれ)
- ▽友部嘉夫(いわき支部・小名浜電設(株)、昭和四年十月二十日生まれ)
- ▽目黒勝(会津支部・(株)黒工業商会、昭和十六年十一月一日生まれ)
- ▽渡部光一郎(会津支部・(株)桜電機商会、昭和二十八年五月十一日生まれ)
- ▽目黒勝(会津支部・(株)黒工業商会、昭和十六年十一月一日生まれ)
- ▽青田純(相双支部・(株)青田電気商会、昭和二十八年二月十九日生まれ)
- ▽池添昌宏(郡山支部・池添電業、昭和十六年十月十九日生まれ)
- ▽渡邊貞男(福島支部・(株)渡邊電業、昭和十六年十月十九日生まれ)
- ▽田電気商会、昭和二十八年七月十日生まれ)

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワイム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 高橋 實

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
TEL (024)546-1321 FAX (024)546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場/山形・北海道千歳

配分電盤専門メーカー

営業品目
屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤

福陽電機製作所

福島市天神町10番41号
TEL (024)534-1528 FAX (024)533-8590

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のごことは、お気軽に、ご相談下さい。

TEMA 社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目11-11プレジーザ仙台ビル ☎(022)261-6015
福島県支部/いわき市勿来町開田和久2-1 ☎(0246)64-8694
福島電気管理センター/安達郡安達町油井字津原 42 ☎(0243)22-2674
郡山電気管理センター/郡山市日和町字日向84-5 ☎(024)958-5203
会津電気管理センター/河沼郡河東町大字谷沢字十文字53 ☎(0242)75-2518
原町電気管理センター/原町市仲町一丁目157 ☎(0244)22-2817
白河電気管理センター/西白河郡東村大字釜子字枇杷山68-3 ☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター/いわき市平字宮ノ前18 ☎(0246)21-9828

宮城電機

営業品目
屋内外閉鎖型配電盤・高低圧配電盤・直流電源装置
計装盤・空調・衛生中央監視盤・コントロールセンター
各種自動制御盤・分電盤・端子盤

郡山営業所/〒963-8014郡山市虎丸町5番8号
日宝郡山第一ビル503
TEL (024)939-2813 FAX (024)939-2814

本社・営業部/〒981-0924仙台市青葉区双葉ヶ丘一丁目45番8号
TEL (022)234-3311 FAX (022)234-3315

FURUKAWA

配電盤 制御システムメーカー

古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024)934-0859
FAX (024)934-0861

本社:仙台市青葉区二日町6-12
仙台工場:仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所:仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

照明器具・配線器具・開閉器・換気扇・配電機器
電線・電線管及び付属品・電設資材全般卸

地域と共に歩む

東北東芝電材株式会社

福島営業所 ☎(024)553-4165
相馬営業所 ☎(0244)36-8901
郡山営業所 ☎(024)934-3065
須賀川営業所 ☎(0248)72-7260